



みんなの議会

ようこそ！
こんにゃくの森へ！

第 74 号

2024.8.1

今号の Topics

コロナ禍の中学生の思いが形に P 3
子どもたちの笑顔あふれる町へ P 4





みんなを笑顔に満腹にしたい ～だれでも食堂

4月28日あづま農村環境改善センターで開催された「だれでも食堂」には、にぎやかな笑い声が響いていました。「だれでも食堂って何？ 本当にだれでも行っているの？」と興味のある方も多いのでは。代表の入江貴代子さんにお話を聞きました。

問 どのような経緯でスタートしたのですか？

入江 最初は昨年4月から寄付や協賛の確保をどのようにするか知るために、町外の活動団体を訪ねて視察し調査しました。その後、町内で声かけを始めたところ、ありがたいことに協力者が多くあり、今年1月に第1回を実現することができました。地元の鶏卵生産者や酪農家、農家の皆さんに大変ご協力いただいています。

問 運営スタッフはどのように集めたのですか？

入江 最初は自身の会社内で声かけをして有志を募りました。またSNSでもボランティアを募集し、若い人もお手伝いしてくれています。

問 食事メニューでこだわっていることは？

入江 とにかく参加してくれる皆さんを満腹にしたい。メニューはできる限り既製品を使わず、今回は餃子、春巻き、牛乳プリン、とうふドーナツなど手作りで提供しています。

問 やってよかったことは？

入江 参加者やボランティアなど、人の絆が広がり



代表 入江貴代子さん（後列中央）とスタッフの皆さん

ました。ここでは赤ちゃんから90代まで集い、子どもとお年寄りが握手するシーンも見ることができ、運営の私たちも感動しました。

問 今後の展望は？

入江 実は高齢者で食事の提供を必要としている人が大変多いのです。免許返納後のケア体制がまだまだ不十分だと思うので、移動販売や宅配弁当の提供も考えています。

問 読者の皆さんへPRをどうぞ。

入江 運営費の寄付や協賛企業を募集しています。また、ボランティアや食料の提供なども併せて募集しています。子ども無料、大人300円（先着50名限定）で月1回開催しています。ぜひ一度ご来場ください。

会場では子どもたちが「だれでも上毛かるたゲーム」ではしゃぐ姿も。上毛かるた3セットを床面に広げ、ハンディのある子もない子と一緒に楽しめる工夫がされています。



運営スタッフの愛情がふれる「だれでも上毛かるたゲーム」

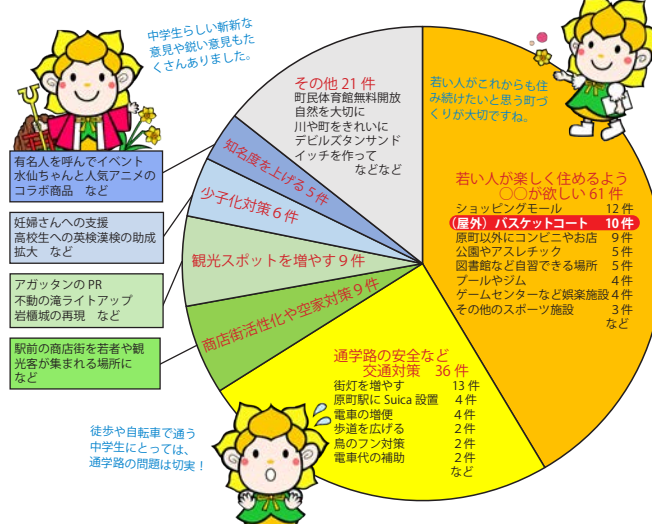
皆さんの声を
議会だより

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp



5月19日1号街区公園にて、3×3バスケットコート開場式が開催されました。中学生が模擬試合を行う中、その様子を見つめる高校生の姿がありました。コロナ禍に中学生時代を送った彼らは、中止になった中学生議会の代わりに、議会だよりを活用した社会科の授業の後、町に対する要望・意見を送ってくれました。3年生全クラスの意見を議会だよりで紹介したところ、屋外バスケットコートの要望が多くありました。その意見を反映する形で3×3バスケットコートが誕生しました。

3年生全クラスの意見 「第64号議会だより」より



集まってくれた生徒たちの中から、代表して清水惇太さんと唐沢慎太郎さんに当時の思いを語ってもらいました。

問 コロナ禍で部活動も制限のあった中学生時代、町への意見を書いたことを覚えていますか？

惇太 町の人とのつながりがコロナ禍の自粛等で失われてしまったので、みんなで集まれる憩いの場としてバスケットコートを作ってほしいと要望しました。

慎太郎 中学生の頃、自粛期間で部活動もなかったので、こういう場所があれば自主練もできると思いました。コロナ禍以外でも家の中でゲームで遊ぶことが多いので、屋外で楽しく体を動かせれば、健康面でもいい効果があると思いました。

問 時間はかかりましたが、みんなの意見が形になったことをどう思いますか？

惇太 僕たちの意見が形になったのを見て、自分たちが行動を起こせば町も行動してくれるということが改めて具現化されたのではないかと思います。

慎太郎 吾妻地区のバスケットが強くなってほしいと思っているので、いつでも練習できる場所があることはありがたいです。自分は高校でもバスケットを続けているので、ここでも練習してがんばりたいです。

それぞれの道でがんばっている高校生たち。学校や就職で離れ離れになっても、時々みんなで集える場所として活用してほしいですね。



久しぶりの仲間とプレーを楽しむ高校生



人事案件6件
全会一致で可決

子どもたちの笑顔あふれる町へ 教育委員会新体制・教育長に茂木一弘氏

令和6年第2回定例会が、6月4日から14日までの11日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された条例改正などの議案や委員会からの発委が審議され、いずれも原案どおり全会一致で可決されました。町政一般質問には7人が登壇し町政をただしました（11ページから17ページをご覧ください）。

教育委員会教育長の任期満了に伴い、茂木一弘さん（植栗）を教育長に任命することに同意しました。

任期は6月21日から令和9年6月20日までの3年間で。

また、教育委員を辞任した茂木さんの後任に富澤昌久さん（岩下）を、引き続き清水有子さん（原町）を教育委員会委員に任命することに同意しました。

任期は6月21日から令和10年6月20日までの4年間で。



教育長 茂木一弘さん

固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

任期満了に伴い、新たに渡辺三司さん（須賀尾）を、引き続き佐藤勉さん（新巻）、飯塚理さん（高崎市）を選任することに同意しました。任期は令和9年6月30日までの3年間で。



教育委員 富澤昌久さん



教育委員 清水有子さん

さかうえ児童クラブの老朽化 早急な対処を

会計名	補正額	予算総額
一般会計	1億5762万円	90億7162万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	1297万円	15億6071万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	△636万円	5752万円

補正予算3件
全会一致で可決

一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ1億5762万円を追加し、総額を90億7162万円としました。人事異動による人件費の補正のほか、国の低所得者支援対策に対応した民生費増額が主な理由です。

また、令和6年度当初予算では、測量・設計・監理委託料440万円を計上し、小学校内への移転が計画されていたさかうえ児童クラブは、雨漏り等施設環境悪化により早急に対処する必要があるため、委託料を減額し、仮施設設置諸工事費用やリース料974万円が追加となりました。



天井に雨漏りの跡が目立つ
さかうえ児童クラブ

水道事業会計補正予算（第1号）は、老朽管布設替事業のための企業債の限度額を次のように改めました。

（補正前）2180万円→（補正後）2830万円

令和5年度繰越明許費繰越計算書の報告

繰越明許費とは？

年度内で使い終わらない見込みの支出について、翌年度に限り繰り越して使用することで、議会の議決が必要です。新年度になり改めて報告されました。



令和6年度に繰り越すことが決まった事業

事業名	金額
情報通信事業	40万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金	985万円
定額減税住民税システム改修業務	154万円
戸籍等システム改修事業	823万円
低所得世帯支援給付金給付事業（追加給付）	17万円
低所得世帯支援給付金給付事業（均等割のみ課税世帯）	4520万円
低所得世帯支援給付金給付事業（子ども加算）	1011万円
子ども・子育て会議費	206万円
住宅用再エネシステム設置費補助金交付事業	220万円
烏帽子地区営農飲雑用水設備設置工事	1028万円
本宿霜田地区農業用用水路設置工事	5025万円
東吾妻町住宅新築改修等補助金	161万円
一般廃棄物処理施設アクセス道路整備事業	3400万円
町道馬場・手古丸線道路改良事業	2947万円
上信自動車道関連事業	2700万円
橋りょう補修事業（4-10号橋・鳶ヶ沢橋）	4978万円
原町小学校屋内運動場床改修事業	5793万円
3×3コート新設工事	319万円

条例改正他8件・全会一致で可決

母子・父子世帯の福祉医療費
所得制限撤廃

東吾妻町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例が可決し、母子・父子家庭や父母のいない児童のいる世帯の所得制限が撤廃されました。現行では対象外だった所得税が3万円以上課せられている世帯でも福祉医療制度の対象となります。



議会のDX推進
オンライン委員会可能に

東吾妻町議会会議規則の一部を改正する議会規則・東吾妻町議会委員会条例の一部を改正する条例が可決し、町議会のDXの推進や、災害や感染症・育児や介護などやむを得ない理由によるオンライン参加での委員会開催が可能となりました。



委員会発委
2件可決

今回の陳情

陳情	継続審査	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情	山元 悠子	総務建設 常任委員会
陳情	不採択	政府に「現行の健康保険証の存続を求める意見書」を提出することを求める陳情	憲法を生かす吾妻連絡会 共同代表 原沢 今朝司 ほか1名	文教厚生 常任委員会

請願・陳情のしかた

請願・陳情とは町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを**請願**といい、紹介のないものを**陳情**といいます。

■必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、署名（または記名押印）

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）、あて先（東吾妻町議会議長）

■提出先…議会事務局（議長宛）

■その他…邦文で記載してください。

■受付締切日…定例会前に開かれる議会運営委員会の前日

（土・日・祝日の場合は、その前日の午後5時15分まで）



ゆがんだ床の改修が必要な原町小学校体育館

工事請負契約の締結2件・全会一致で可決

原町小学校体育館床改修工事

契約金額	5500万円
契約方法	条件付一般競争入札
契約の相手方	池原工業株式会社 代表取締役 池原 純（原町）

【質疑】

竹淵博行議員 友人の設計士に施工方法を確認したが、冬場の乾燥により、夏場に床のゆがみが出ることもあるという。コンクリートは露出されている所は紫外線で乾燥することもあるが、床下では水を吸い上げると吸いっ放しという状態もあり得る。小学校や体育館を造った時には、基礎にくいを何本も入れていて、水も結構出てきた土地である。全面的なシートを剥がした際に、コンクリートの部分がいたずらしている可能性もあるかもしれない。今回は基礎の上部分を張り替える工法の契約だが、全面を剥がしてコンクリートを調査した段階で進めないと、工法自体が問題になる可能性がある。発注した材料が無駄にならないよう注意して進めてほしい。

学校教育課長 令和5年度に原因解明の調査をし、表面上の含水率や床の隙間、防湿シートの設置状況などを確認した。その結果を生かした上で最善の方法として、現行の工事内容を提案している。この調査の時点で体育館の中の2か所を抽出して実際に床面を剥がして確認作業をした。全面を剥がして何か不適切な点があれば、工事の内容を改めて検討するなど、適切に工事管理をしていきたい。また、不測の事態が起これば、工事内容の変更もあり得ると認識している。

定例会・臨時会の会議録は、東吾妻町議会のホームページでもご覧いただけます。
一般質問等の質疑応答は編集してあります。
本会議中の正確なやり取りについては、東吾妻町議会ホームページの会議録（9月中に掲載予定）をご覧ください。



解体される明治45年建築の旧岩島第三小学校

旧岩島第二小学校・幼稚園等解体工事

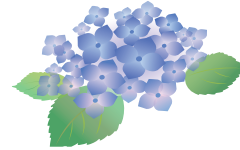
契約金額	5742万円
契約方法	指名競争入札
契約の相手方	池原工業株式会社 代表取締役 池原 純（原町）

【質疑】

竹淵博行議員 校舎の中に保存されてきた物があると思うが、それらはどうするのか。
総務課長 施設の中の大部分の物が処分されるような設計になっており、基本的には設計書に処分すべきものは全て載っている。設計自体が令和5年度のもので、職員が現地を確認して、この設計書が出来上がっているという風に捉えている。
竹淵博行議員 校舎には昔の農機具などがあり、歴史上わが町において貴重な物として保存してきた。それらの保管場所はどのようにするのか。町の財産の処分をどのように決めたのか。
会計課長 前任者としてお答えすると、前年度社会教育課の所管で保存してきた文化財関係は、旧岩島中学校に移し替えている。今残っている物は全て処分する方向で問題ないと考えている。

町議会から台湾東部沖地震
被災者へ見舞金

佐藤聡一議長は、中澤恒喜町長と東京都港区にある台湾の大使館に相当する台北駐日経済文化代表處を訪問し、台湾東部沖地震の見舞金6万円を渡しました。



皆さんの

6月 定例会

請願・陳情 についての報告

議会では、皆さんから提出された請願・陳情を慎重に審査しています。採択した中で、町執行部へ送るべきものは速やかに送付し、要望の実現が図られるよう議会の意志を伝えています。

これに対し実施の可否は町の判断になりますが、処理経過を報告することが義務付けられており、議会に報告がありました。

令和2年
12月採択
建設課

河川からの越水被害に関する陳情

処理中：令和4年度調査測量設計、令和5年度から上之宮区の要望と併せた法定外公物再整備事業（赤道・水路整備）として一体的に工事実施中。

令和2年
6月採択
建設課

町道5242号線（郷原古谷）改良の請願

処理中：令和2・3年度に維持工事で路側の一部を補修・拡幅済み。

東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情

処理中：今後の管内校長会議において、保健センターから聴取した郡内他町村の状況を報告する。その後、小中学校の養護教諭等へ聞き取りを行うなど、調査を進める予定。

令和元年
9月採択
学校教育課

日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情

処理中：本宿・日向線は令和2年度から舗装工事実施（令和4年度完了）。上本丸橋は平成30年度床版防水対策工事を実施、補修耐震化は令和6年度に補修詳細設計を実施する。

令和元年
9月採択
建設課平成28年
9月採択
建設課

町道新井・横谷・松谷線 拡幅のお願い

未決：三島唐堀地内の町道拡幅については用地補償など多額の事業費が見込まれる。令和5年度吾妻西バイパス（厚田－松谷）が供用開始したことから今後の通行量も調査しながら検討。

上信自動車道の開通に伴う 発展政策提言の陳情書

未決：川戸・原町IC～群馬原町駅北側までのアクセス道路（仮）は広い面積の用地買収、多くの補償物件が見込まれ、都市計画道路の見直しと県道やJR等との調整が相当必要なことから検討中。

平成27年
12月採択
建設課

町道5085号線（原町上野在下）拡幅改良工事に関する陳情書

処理中：平成30年度概略設計・令和元年度詳細設計・令和2～3年度改良済み（＝45.0m（狭小・急勾配区間）、令和4年11月要望書提出あり（大宮神社裏）。

平成27年
12月採択
建設課平成27年12月採択
まちづくり推進課

安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・GS・直売所）

処理中：陳情案件は「坂上薬局」付近のことであるが、萩生地区と近接しており、トイレ・休憩所は設置済み。この付近の新たな設置は、今後交通量の増加や地域ニーズ等を踏まえ検討。

採択から10年以上経過した請願・陳情の処理経過の議会だより掲載は省略します。

ただし、採択された事実は残りますので、議員が引き続き調査・質問等を行うことは可能です。

ご理解・ご協力をお願いします。

橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（岩下漆貝戸）

未決：令和3年度に建設課の内部評価済み（優先順位の検討）

平成27年
9月採択
建設課

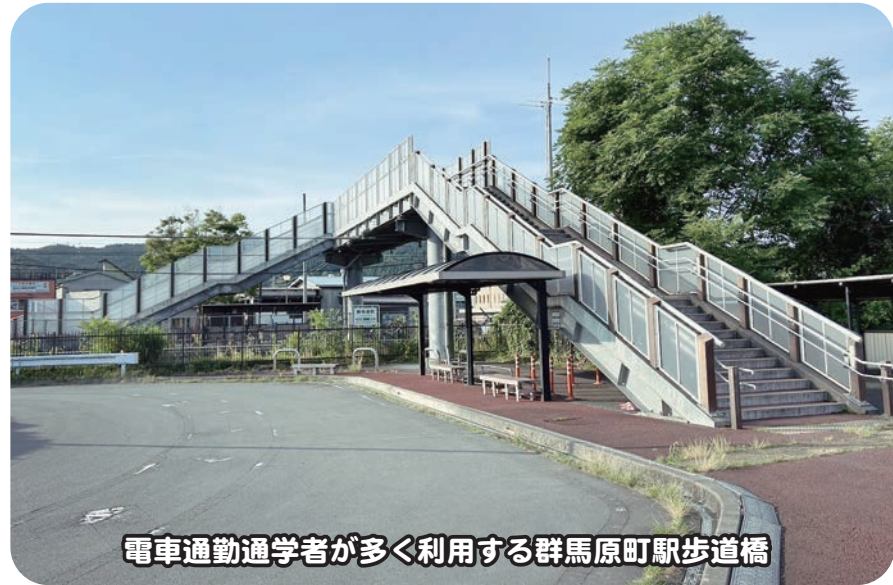
第2回 臨時会

令和6年4月25日

原町駅歩道橋補修工事の協定締結へ

工事の施行に関する協定の締結

目的 吾妻線群馬原町構内22k913m付近5-94号橋（原町駅歩道橋）補修工事
協定の金額 6684万6000円
協定の種類 随意契約（鉄道施設内の工事のため）
協定の相手方 東日本旅客鉄道株式会社
執行役員 高崎支社長 樋口 達夫（高崎）
安全対策のための耐震工事で、電車の運行に支障がないよう夜間なども行い、短期間で済むよう努めると説明がありました。**工事中は歩道橋の通行ができなくなります。**駅北の駐輪場等を利用の方は事前のお知らせに注意してください。



電車通勤通学者が多く利用する群馬原町駅歩道橋

財産（土地）の取得

所在地 東吾妻町大字大柏木字大場19番外9筆
区分 土地（原野、山林）
数量 38,424.03㎡
取得の目的 吾妻郡一般廃棄物処理施設進入道路用地
取得価格 3385万1000円
契約の相手方 財務省関東財務局
前橋財務事務所長 越湖 建二（前橋）

専決処分2件
議案2件
全会一致で
承認・可決

専決処分2件承認

専決処分とは

地方自治法に基づき、予算や条例などを議会の議決を経ずに、町長が法規裁量で処分することで、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がない場合などに行われます。

東吾妻町税条例の一部を改正する条例

令和6年度分の定額減税に関する各種規定を新設するほか、町民税や固定資産税等の減免について、災害時等で本人の申請ができないなどの場合を想定し、町長が必要と認める場合に減免できるとするなど、地方税法の一部改正に伴う改正です。

東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を中間所得層の被保険者の負担に配慮することを目的に、22万円から24万円へ改めるなど、地方税法の一部改正に伴う改正です。

Question

子どもの近視対策は

Answer

家庭と学校が連携して健康づくりに取り組んでいく



たかはし ひろし
高橋 弘 議員

2022年文部科学省の「学校保健統計調査」によると、裸眼視力が1.0未満の子どもの割合は小学生37.9%、中学生61.2%、高校生71.6%であり調査開始以降最多となっている。国が1人1台のパソコンやタブレット端末を配備する「GIGAスクール構想」が背景にあるとみられる。低下した視力は基本的には回復しないとのことである。

問 当町の小・中学生の視力検査の方法と裸眼視力1.0未満の割合とメガネ等の使用率は。

教育長 視力検査は、養護教諭が担い、眼の疾病と異常の確認は眼科医に委託している。令和4年度の群馬県学校保健統計調査結果では裸眼視力の割合は年々低下傾向にありメガネの使用割合は小学生13.5%、中学生35.6%となっている。管内の学校でも同様の傾向にあると考えている。

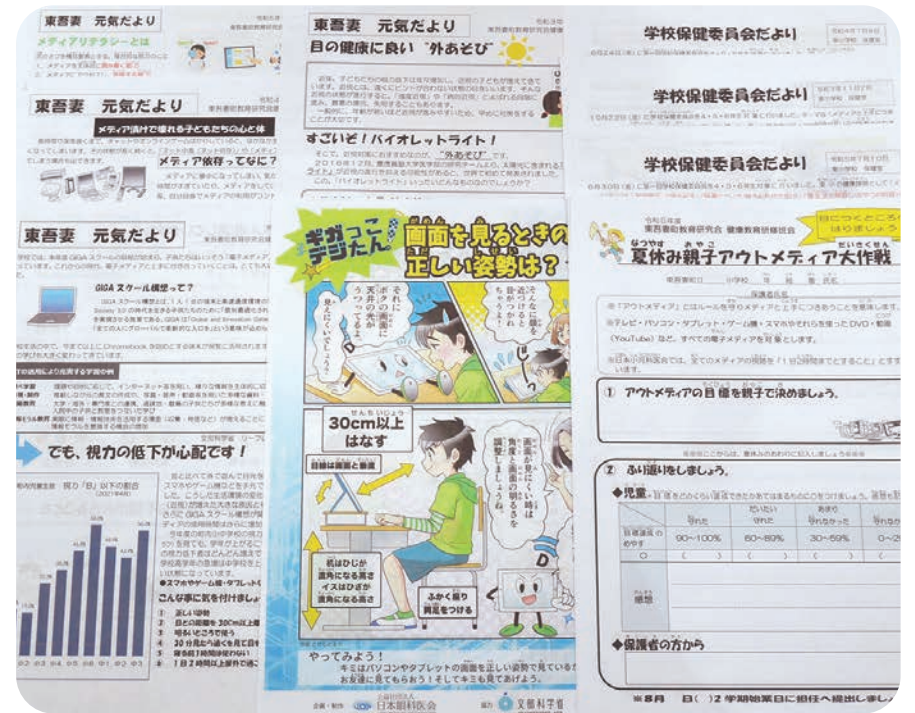
問 学校の授業でタブレット

端末の使用上の注意と近視を抑制する対策に取り組んでいるか。

教育長 教育課程において情報機器端末の活用が推奨されており授業を充実させるための道具として使用している。基本的事項として使用時の姿勢、就寝前のデジタル機器の利用の制限、眼を大切にする生活、節度ある使い方など注意喚起している。

問 近視対策は教育現場だけでなく家庭との連携が必要と思われるがどのような対策を行っているか。

教育長 子どもたちが自らの健康問題として健全な生活習慣を身に付けることを指導することが重要であると考えている。メディアとの上手な付き合い方、体を使った遊びの大切さなど引き続き啓発していきたい。



家庭向けに目の健康啓発を行う「東吾妻元気だより」（町教育研究会）や各学校からの保健だより

ましこ きょうこ
増子京子議員

Question

災害時の避難所対策は

Answer

平時の時にこそしっかりと避難所のあり方を確認していきたい

わが東吾妻町もこれからの時期、線状降水帯による豪雨などが予想される。当町の防災ハザードマップを見ても分かるように吾妻川を擁したわが町は、川の氾濫や土砂災害などの可能性が考えられる。平時の時にこそ災害時の避難所のあり方をしっかり確認したい。

問 プライベートを守ることが難しい状況の避難所。ゾーニング（区分け）についてお聞きしたい。また避難所

は全てペット同伴避難ができるか。その場合、一般の避難者と、ペット同伴の避難者のゾーニングもお考えか。

町長 当町の指定避難所のペット同伴は基本的には可能である。ゾーニングについては、受付・生活・オムツ交換、授乳・物資管理・ペットなどの各エリアがあるが地域の特性やニーズに応じて避難所ごとに臨機応変に対応をしていく。

問 現在、災害備蓄品は全て

の避難所に備えてあるか。備えがない避難所への搬入手段はどうするか。

町長 災害備蓄品は役場本庁舎の他、各地区の公民館を中心とした配備を進めている。食料備蓄品は現在、東、原町、岩島の各地区に備えがあり今後、坂上、太田の2地区の配備を進めていく。道路分断時は群馬県ドローン協会の協力による航空物資輸送も取り入れていきたい。

問 食料備蓄品などで消費期限が近い物についての扱いは。

町長 消費期限の近い食料備蓄品については自主避難訓練等での配布や保健センターが計画する「非常食を使った料理教室」などに有効活用していきたい。今後、交流自治体スクラム支援体制による受援体制の強化にも注力している。

問 今後、防災啓発による防災フェスタなど開催し当町の災害備蓄品や防災用テントなどの展示をしてみてもは。

町長 良い考えだと思う。前向きに検討していきたい。



町で備蓄している液体ミルクや離乳食

Question

少子化対策は待ったなしの喫緊の最重要課題ー少子化に歯止めをー

Answer

国、県、町の連携により、少子化の改善に向けて重点的に取り組む

こばやしこういち
小林光一議員

わが町の将来を安定化し、安心で持続可能な町にするためには人口減少、とりわけ少子化は待ったなしの喫緊の最重要課題で、すぐにも人口減少に歯止めをかけなくてはならない。

問 2040年を待たずして1万人の目標を切り、将来的に「消滅可能性がある自治体」に再度分類された。町長の見解は。

町長 直面している人口減少の深刻さを改めて認識している。これまで以上に、国、県、町の連携により、問題の改善に向けて重点的に取り組んでいく。

問 多くの自治体では「消滅可能性自治体」からの脱却にふるさと納税を活用している。町長の見解は。

町長 施策を実行するためには財源が必要である。納税の増額に取り組んでいく。

問 町の人口は1年間に約320人減少し、最近の出生者は平均して30人台である。町長の見解は。

町長 危機感を募らせるものであり、若い世代が安心して

子育てできる環境づくりに力を入れていく。

問 人口減少や少子化対策に集中的に取り組む部署の新設の考えは。

町長 組織編成の中で検討していく。

問 園児数や生徒数が減っても、各地区のこども園や小学校は今後も維持する方針か。

町長 子どもは町の宝であり、家庭や地域で育てることが重要なので、維持する。

問 2040年に1万人を維持し、人口減少に歯止めをかけるために、今後の少子化対策支援の計画は。

町長 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく各事業に取り組んでおり、最終年度を迎えることから、検証を行い、新たな計画を策定し、効果的な計画にしていく。保育料の無償化は現在検討している。

問 少子化を防ぐには結婚してもらうことが前提であるが、結婚前の支援が極めて少ない。民間の個人や団体が行う婚活事業について支援すべきでは。

町長 以前、婦人会などが出会いの場を提供したことがある。状況を見ながら、支援を進めていく。



少子化対策に婚活事業の充実を



井上日出来議員

小林宗作氏を核とした政策（その2）

問 過去に提案した「小林宗作氏を核とした政策」についてその後の経過や検討内容をお尋ねする。

町長 「リトミック」を日本に広めた当町出身の小林宗作氏。現在も氏の教育理念を受け継いでいる国立音楽大学附属幼稚園の林浩子園長を8月1日に招き、当町のこども園・保育所の職員を対象に合同研修会を開催する。当町の教育・保育活動への取り組みや新たなアイデアの発掘に向けた起点となれどと考えている。

町で「高齢者のリトミック」導入を

問 国立音大では「高齢者のリトミック」が研究されており、スイスでは歩行機能改善が認められ保険適用である。当町では国保の運営が一段と厳しくなる中、大学側に体験会や講習会を依頼してはどうか。

町長 大変興味深い提案だ。研究して当町で導入できるものは導入したい。

Question

町の合併 20 周年事業に「小林宗作サミット（仮称）」を

Answer

多くのアイデアに耳を傾け、企画検討を進めたい

問 当町合併20周年事業として、

- ①国立音楽大学が所蔵する、氏に関する資料の共有化。
 - ②同大学生の演奏会や小中学生への指導など交流事業。
 - ③「小林宗作サミット」（仮称）の開催。
- などを提案する。

町長 今後多くのアイデアに耳を傾けて企画検討していきたい。

受給者証（福祉サービス用）の発行基準について

問 受給者証発行の手順と選定基準は明文化されているか。

町長 厚労省および子ども家庭庁が定める事務処理要領に

沿って対応している。要領は各省庁で公表されている。

就労支援・就労継続支援施設の訪問相談活動（無支給）に支援体制を

問 要支援者が施設利用するまでは、施設スタッフが幾度も訪問し社会復帰を促しているが、現在この活動は無支給（ボランティア）となっている。経営を圧迫することになりかねず、行政の支援を要すると思うがいかがか。

町長 町では「重層的支援体制整備事業」において昨年度から移行準備を進め、令和8年の事業開始予定。事業所の負担削減につながると考えている。



昨年バイテック文化ホールで開催された若返りリトミック講座

Question

結婚を望む若者が、安心して結婚できる環境を

Answer

若者のニーズに応え、雇用の確保など各種施策の検討を進める

近年日本では、少子化・人口減少が問題となっている。しかし、それ以前に結婚を希望する人が、安心して結婚できない状況がある。内閣府の調査（令和2年～3年）によれば、「今後の結婚願望ある」と回答した20代女性64.6%。同男性54.4%となっているが、若い世代の未婚率は上昇している。

問 当町の20代未婚率はどのような状況か。

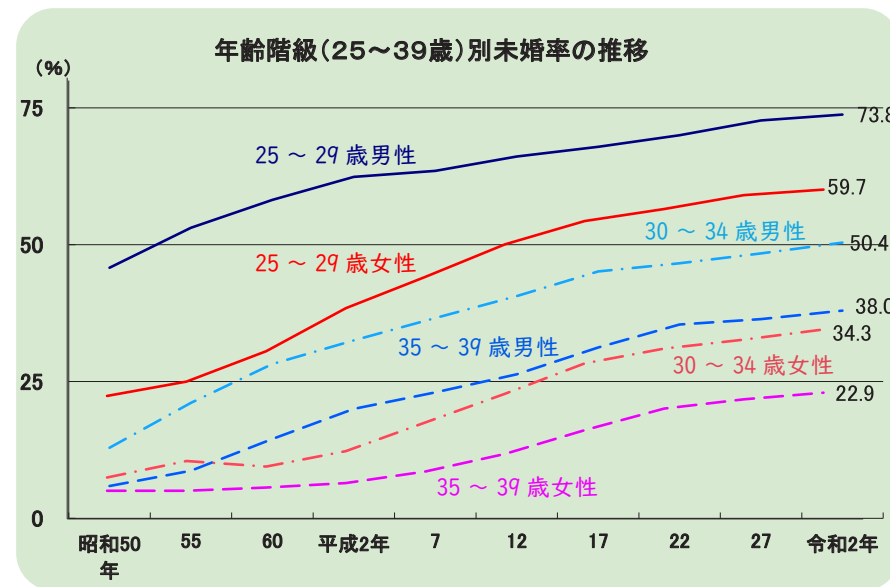
町長 町の20代の未婚率は、全国の74.7%、群馬県全体の77.9%に対し、

当町では83.6%と高い水準となっている。未婚化、晩婚化は価値観の変化などさまざまな要因が複雑に絡み合い、経済的な要因としては雇用や収入の不安定さがある。その中で結婚や出産を望む人が希望を叶えられる支援に取り組むことが大切だ。町では今まで、結婚・出産から子育てまで各ライフステージにおける支援に取り組んできた。今後も支援策を周知し、継続していく考えだ。

問 群馬県の行った県民意識調査がある（令和5年～6

年）。それによると「結婚しやすい社会か」との問いに60.6%が「結婚しにくい」と回答し、これには経済的不安要因が大きい。さらに「いずれ結婚したい」と答えた人は66.2%を占めた。問題は結婚を望む人たちが若い世代が結婚をためらう社会であるということだ。税制など国民負担率が上昇するにしがって、結婚・出産数が減少しているというデータもある。さらなる若い世代への支援が必要と考えるが。

町長 若者が経済的不安から結婚をためらうことについては、町では「結婚新生活支援補助」等があるが、安定した雇用を確保することは結婚を決める上で重要になる。今後上信道の開通に伴い、地域特性を生かした企業誘致、新規就農支援や製造業の事業拡大などによって雇用の創出拡大を図っていく。若者のニーズに応え、安心して結婚できる環境となる施策の検討を進める。



《令和2年国勢調査》群馬県の人口と世帯【人口等基本集計結果（確報）】を基に作成

一般質問

さいとう たかし
齋藤貴史議員

Question

人口減少対策、「攻め」の誘客、
原町地区公民館機能について

Answer

検討してニーズの把握に努めていく

人口減少対策の議論は

問 国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口で、当町は、2050年に6009人で減少率は郡内で最大。2018年から22年の合計特殊出生率1.20も郡内最低、県内ワースト3。2020年から30年間の若年女性人口減少率は71.0%。消滅可能性自治体とされた。前回一般質問で、対策組織の必要性を問うたが、ひがしあがつま創生会議などで「住民参加の行政運営を進

めたい」との回答だった。当初の発表から半年が経過。この間、同会議は開かれたか。
町長 昨年末に総合計画・総合戦略の外部評価を実施。それ以降、開催はない。次期戦略策定の協議で今年度中に数回開催予定。さまざまな手法を検討して住民意識やニーズ把握に努める。

「攻め」の誘客、とは

問 5月に県主催「未来構想フォーラム」が開かれ、郡内6町村長の未来構想が発表

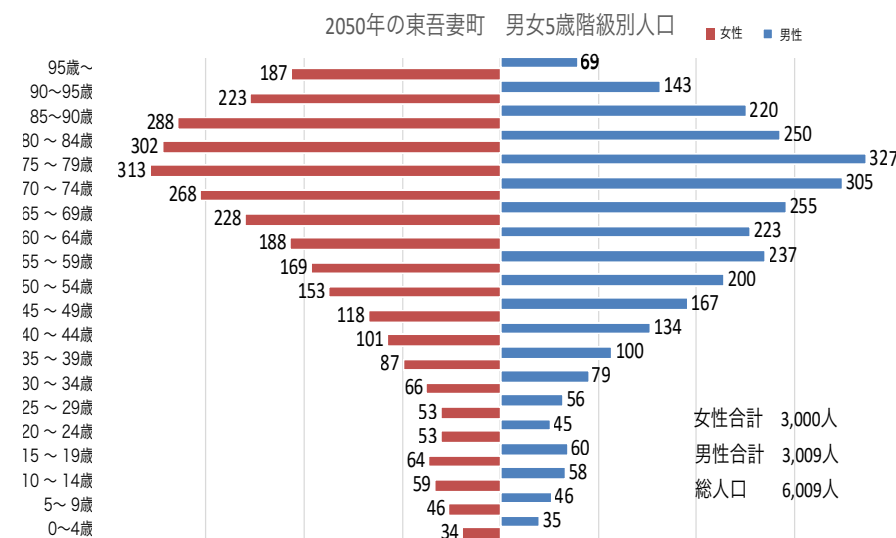
された。中澤町長から「攻め」の誘客への強い意志表明があった。その構想とは。

町長 広域的に捉え、郡内や交流自治体と連携を進め、町営観光施設や町内観光団体と連携強化し、誘客を促進したい。自然や歴史、食文化を生かした、新しいアイデアによる地域資源磨き上げと自治体連携強化、官民連携推進で「攻め」の誘客を推進したい。

原町地区の公民館はどこに

問 原町地区の老人会、奉賛会の事務は個人負担で行う。「他地区のように事務局を公民館に担ってほしい」という声があるが、「中央公民館は町全体の公民館であり、原町地区の公民館ではないので事務局を受けられない」との回答を受けている。原町地区公民館は一体どこにあるのか。

町長 中央公民館は原町地区の公民館機能を併せ持っている。原町地区住民活動は、中央公民館でサポートを受けることが可能。自立性を尊重しつつ、支援していくことが今後の課題である。



東吾妻町の2050年将来推計人口。国立社会保障・人口問題研究所公表の数値データをグラフ化（再掲）

Question

高齢者福祉のさらなる充実を

Answer

地区サロンの充実を図り社会参加・
見守り・在宅生活支援を推進したいたかはし のりき
高橋徳樹議員

問 令和6年度から8年度に向けた第9期後期高齢者福祉計画等が取りまとめられた。この期間は団塊の世代全てが75歳以上の後期高齢者となりこれまで積み上げてきた施策の総仕上げを行う重要期間である。8期までの取り組み成果、課題、さらに充実すべき項目は。

町長 これまで介護予防事業に力を入れ、健康寿命延伸につながる支援に努めてきた。社協が支援しているサロンへ保健師や栄養士、リハビリ職

等の専門職を派遣、コロナ禍で一時的に停滞していたサロン活動が令和5年度には37か所まで回復した。課題は高齢者の社会参加、地域での見守り、在宅生活の支援等あるが今後も地区サロンの一層の充実を図るとともに担い手育成に力を入れたい。

問 認知症カフェの地区ごとの開催状況は。

町長 現在、太田・岩島地区は月1回、東地区は年7回、原町・坂上地区は年4回程度開催、参加者の自立支援や孤

立予防につながるよう各地区の認知症サポーターを中心としたチームオレンジが主体となり活動している。

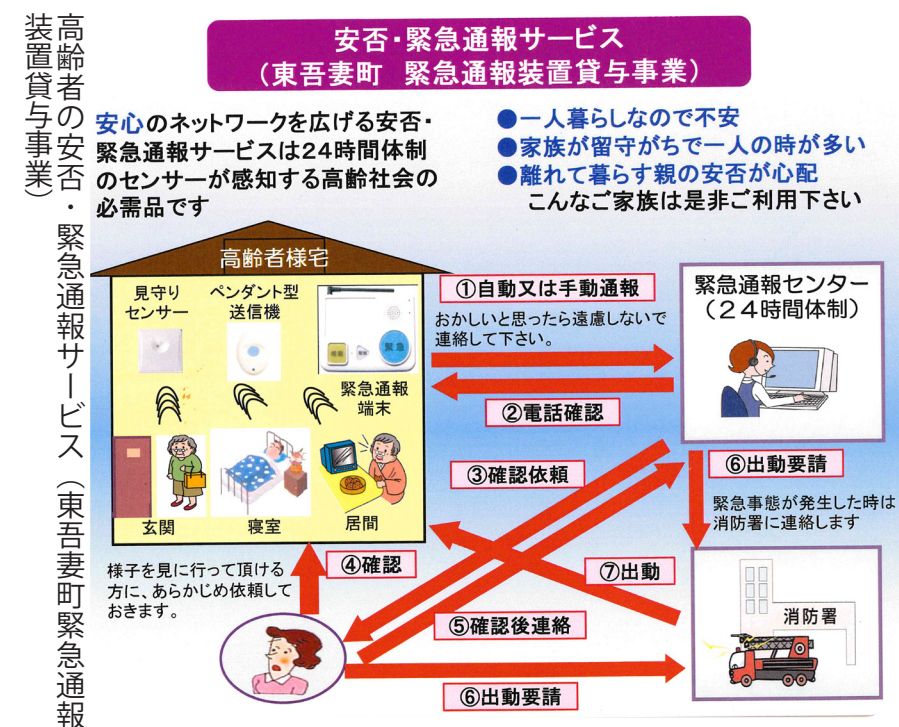
問 単身高齢者、高齢者夫婦の地域見守り対策状況、また安否・緊急通報サービスの利用状況を伺う。

町長 民生委員・児童委員を中心に見守りを実施。また行政区長・班長宛に配布物の際の協力依頼の通知を发出させていただいている。緊急通報システムの利用者は7名おり、ほか認知症高齢者等事前登録制度の利用がある。

公民館を地域づくりの拠点に
（地域おこし協力隊員配置を）

問 他自治体では、公民館をより住民目線での地域づくりの拠点として運用する動きがある。今後は地域おこし協力隊員を5地区に配置するなどして、住民が運営するサークル活動、イベント支援等老若男女が集う拠点として整備を進めてはどうか。

町長 各種講座の充実には、指導者、運営者の養成が必要で、ボランティアや地域おこし協力隊活用も推進したい。



常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

総務建設常任委員会



宅地造成の盛土を視察

3月27日榛名湖畔にある「ふれあいの家」と大規模盛土造成団地「植栗・舞台住宅団地」と「岡崎・岩久保住宅団地」において調査を実施しました。「ふれあいの家」は建設後32年が経過、平成15年度以降未利用であり、その活用についてさまざまな意見が出されました。「岡崎・岩久保住宅団地」は令和6年度に対策工事の検討を行い令和7年度中に実施予定です。

定例会中の委員会では、令和6年度一般会計補正予算等と陳情2号の審査を行い、陳情は継続審査となりました。

今回の委員会 注目3事業!!



役場旧庁舎跡地の活用

地域活性化を目的に公共施設を利用する社会実験として令和6年5月1日～12月25日まで利用希望者の募集を行い一定期間利用する制度を導入した。

定額減税

令和6年6月以降の給与や年金、確定申告等において、所得税3万円、住民税1万円の計4万円の特別控除が行われるとの説明を受けた。

ツキノワグマ被害対策

本年5月頃から当町管内でクマの目撃情報が多発、昨年は人身事故も発生した。地域おこし協力隊から活動報告された「クマ類の出没対応マニュアル」を参考にしたい。

文教厚生常任委員会

定例会中の委員会では所管事務調査をはじめとして、陳情3号の審査および原町小学校体育館の現地調査を実施しました。

原町小学校体育館では、床のゆがみの現状確認と工事の工法等の説明を受けました。

大切な子どもたちの安全な教育保育環境が確保されるよう、議会の立場でできることを委員会としても行っていきたいと思います。



原町小学校体育館を視察

いわびつ荘

町社会福祉協議会の指定管理となつたいわびつ荘の施設長から、今後も利用者により安心・快適なサービスの提供を目指していく旨の説明を受けた。

中央公民館耐震工事

大規模事業改修工事の詳細設計が示された。事業費約3億2000万円。有利な起債である合併特例債を活用。工期は今年度内の予定。より利便性の高いものになるよう要望した。

日赤病院との連携

町と日赤病院との連携協議会が開かれ、町内福祉施設等での共同避難訓練の実施に向けて話し合われたとの報告。拠点病院である日赤と連携に向けて今後も取り組んでいく。

今回の委員会 注目3事業!!



特別委員会 その他の活動

ワーキンググループで調査・研究へ ～予算決算特別委員会

予算と決算は町にとって最も重要な議案であり、議会は詳細に審議する義務があると思います。

そのようなことから、予算決算特別委員会の今後の進め方について協議しました。委員よりさまざまな意見が出され、今までの予算決算特別委員会では委員と執行部との質疑が主でしたが、委員同士のディスカッションも必要ではないかということで、佐藤議長を含めた12名の委員を3グループに分けてワーキンググループを発足させ活動することに決しました。

今後は定例会の閉会中にそれぞれのグループが目標を掲げ、調査・研究を進め、定例会中の予算決算特別委員会の最後にそれぞれの活動成果を発表していくことになります。

議会のDX推進へ協議 ～議会運営委員会

東吾妻町議会会議規則の一部を改正する議会規則および東吾妻町議会委員会条例の

一部を改正する条例を委員会で発委し、可決されました。今後、町議会のデジタル化を推進していきます。

また、オンラインでの委員会の開催方法や請願のオンラインでの受付の方法を申し合わせ事項として協議し、議員全員協議会で確認しました。

現在進行形の課題を協議 〈議員全員協議会〉

定例会中の議員全員協議会で協議された内容は以下のとおりです。

- (1)遊休資産活用公募型プロポーザル結果について
- (2)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- (3)令和7年度東吾妻町国民健康保険税の税率改正に係る諮問について
- (4)役場庁舎跡地トライアル・サウンディングについて
- (5)工事請負契約の締結について(水道事業)
- (6)原町小学校体育館床改修工事について
- (7)東吾妻町子ども・子育て支援事業計画(第3期)について
- (8)スポーツ推進計画について

「議会だより」の表紙の写真を募集します!

74号の表紙「ようこそ! こんにゃくの森へ」

74号の表紙の写真は、小山昌丈さんの作品です。いつも見慣れているこんにゃく畑がこんな幻想的な風景に。まるで、昆虫になってこんにゃくの森に迷い込んだような気持ちになります。青空とこんにゃくの葉の緑のコントラストが秀逸な夏の風景です。

「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。自然豊かな町の風景や子どもたちの笑顔など表紙を飾る写真を募集中!

次号は11月発行。秋らしい写真を募集します。

詳しくは、東吾妻町議会ホームページをご覧ください。





「忍者の町への盛り上がりを期待」 田中 敬一さん（72歳 / 松谷）

3年前、JAあがつまを退職してからも、地元会社にお世話になり、専門の農業機械修理技術を生かした仕事を続けております。

サラリーマン時代の貴重な思い出としては、30歳代以降、JICA青年海外協力隊および専門家としてフィジー共和国に3年、ガーナ共和国に5年、インドネシア共和国に2か月派遣され、各国農業センター技術者や農家に稲作、ジャガイモ作りに使用する農業機械や消毒機械等の修理、メンテナンスについて指導したことがあります。この体験が仕事を続ける励みになっております。

今回、1万人規模の小さな町、東吾妻の未来について考えてみました。確かに全国自治体同様な人口減少、少子高齢化などの根本課題がありますが、これは一町村だけで簡単に解決で

きるものではなく、あまり一喜一憂しなくてもいいのではと捉えております。今後は財政規模が縮小しても、身の丈にあった持続的行政サービスを続けることが必要で、さらに県と連携して国に対し若者の雇用を創出するための職業訓練、人材育成や弱者対策になるベーシックインカム制度の検討などの呼びかけが必要になってくるのではないのでしょうか。

町施策では観光による地域振興に注目しており忍者の町づくりの認知度を高めてはいいかがでしょうか。秋には国際忍者学会、史跡巡りが予定されているようですが、インバウンド対象（特に子ども）に向けた英字パンフ作成、さらにはかつて米国で人気を博した「忍者タートルズ」のようなキャラクターづくりも取り入れながら盛り上げてみてはどうでしょうか。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は9月3日開会予定

9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ← 本会議	4 本会議	5 常委	6 常委	7
8	9	10 特委	11 特委	12 全協特委	13 休会	14 本会議
15	16	17 → 本会議	18	19	20	21

*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

どちらかという固く難しいイメージのある議会だよりですが、若い方や女性にも手に取っていただけるよう、紙面をかわいらしい雰囲気になししています。これからも、写真やイラストを多用し、より分かりやすく親しみやすい広報紙作りを目指してまいります。

また、皆様のご意見や感想、表紙等の写真を「大募集」しています。お子さん、お孫さん、ペット、町の風景などの写真を議会だよりでお披露目ませんか。ぜひお気軽にご参加ください。

（渡 一美）

議会広報特別委員会

委員長 里見 武男 副委員長 井上日出来
委員 齋藤 貴史 委員 増子 京子
委員 渡 一美 委員 高橋 徳樹
委員 重野 能之

